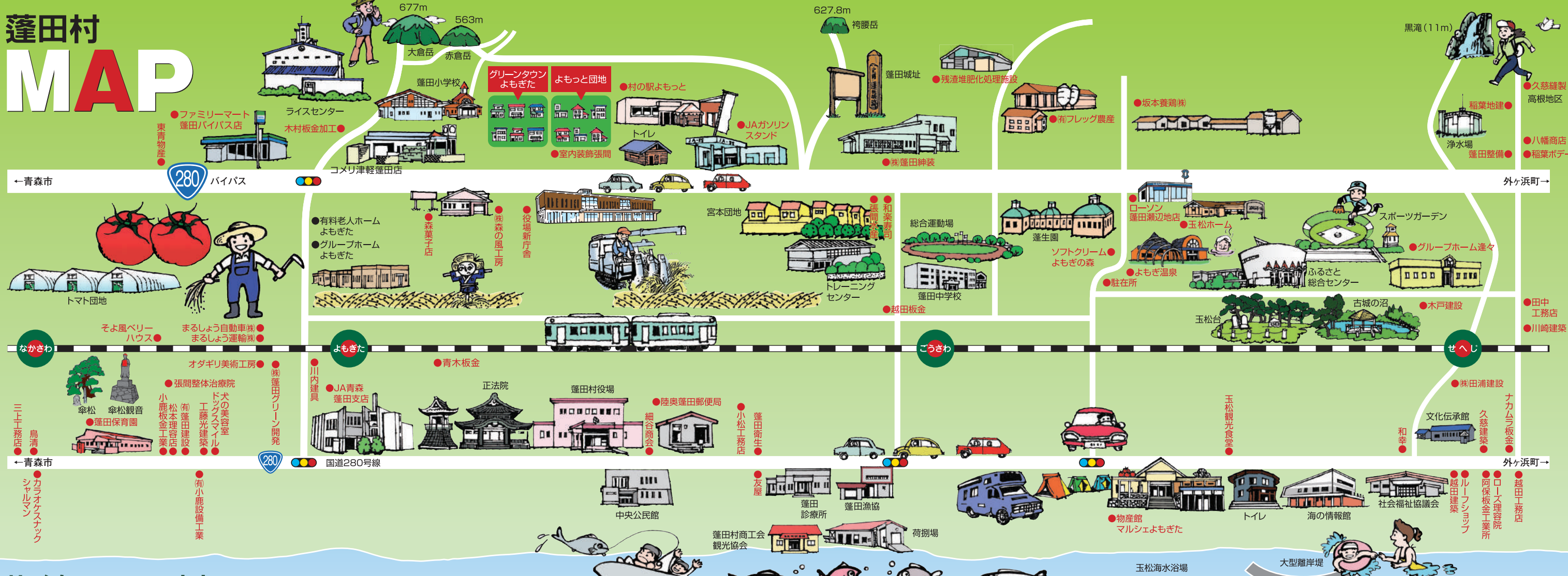


蓬田村MAP



北緯41°の村



青森駅からJR・車で約30分

青森市の北に位置する「蓬田村」は、青森市からJRでも車で約30分という近さ。また、東北新幹線「新青森駅」からは、車で20分、奥津軽いまべつ駅からは車で40分と新幹線を活用すれば遠方からも訪れやすくなりました。

蓬田村ってどんなところ？

青森県の北西部、津軽半島の東側陸奥湾沿岸に位置し、村の北部は41度00分線にあります。南側を県庁所在地の青森市と接し、北側を外ヶ浜町と接しています。集落は南北に帯状に連なり、南から中沢、長科、阿弥陀川、ぐっと町会、蓬田、宮本、郷沢、瀬辺地、広瀬と、広瀬の西に位置する高根の10地区から成っています。西方を津軽半島の脊梁をなす中山山脈が走り、大倉岳(677m)赤倉岳(563m)袴腰岳(627.8m)がそびえています。中山山脈から流れる4本の川の豊かな農作業用水を利用した、美田が広がり、おだやかな陸奥湾では、ホタテ養殖が盛んです。



蓬田村のシンボル



ヨモットくん



僕は蓬田村のヨモと、トマトのトからヨモットくんとな付けられました。僕から蓬田村のトマトについて簡単な説明をするよ！蓬田村は昭和40年代頃からトマトを作り始め、その後昭和50年代にハウスの増設、集出荷施設の整備を行い、農家さんの栽培意欲の向上とともにトマト栽培が本格化し、一大産地となったんだ！ちなみに蓬田村は、この地域特有の「やませ」により夏場に昼と夜で寒暖差が生まれるんだ！この気温の低下から自らの身を守るために養分をため込むことで、より旨味のあるトマトができるんだよ！